

7月分 報告書

調査実施日：2018年7月11日（水）時間：9:30～11:00 天候：晴れ 風力：弱

調査員：橋本・多田・祝（下地） S...さえずり C...地鳴き V...姿 O...その他（食痕など）

	種名	数	観察記録					備考（観察時の状況・具体的な行動など）	繁殖の可能性	
			齢	S	C	V	O		繁殖行動	ランク
1	コゲラ	2	不明							
2	オナガ	2	不明							
3	ハシボソガラス	4	成鳥					ハシボソガラスに追われていた		
4	ハシブトガラス	8	成鳥・幼鳥					幼鳥を確認	B	39
5	シジュウカラ	7	成鳥・幼鳥					幼鳥を確認	B	39
6	ツバメ	4	成鳥・幼鳥					上空を飛ぶ幼鳥を確認	D	60
7	ヒヨドリ	12	成鳥・幼鳥					幼鳥を確認	B	39
8	エナガ	4	成鳥							
9	メジロ	2	成鳥							
10	ムクドリ	12	幼鳥					幼鳥の群れを確認	B	39
11	ガビチョウ	4	成鳥・幼鳥					幼鳥を確認	B	39



写真①：ムクドリ幼鳥



写真：シジュウカラ幼鳥

結果	在来種	10	種
	外来種	1	種
	合計	11	種

全般：晴れて暑い日だった。ひと月前に比べ野鳥たちのさえずりは不活発に。  
 コメ繁殖の可能性について：今回、幼鳥の姿を確認し、調査地内もしくは近隣で繁殖していると考えられるのが、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、ガビチョウの6種。  
 シンこのうち、ハシブトガラスは巣立ち後間もないと思われる幼鳥3羽が寄り添っているのを確認。ムクドリは幼鳥のみで構成された群れで行動。ガビチョウは成鳥と幼鳥がまじりあった4羽の群れを確認した。  
 ト その他：調査地内では珍しく、数羽のハシボソガラスが確認された。ハシブトガラスに追われていた。